

研究・調査報告書

| | |
|---|---------------------|
| 報告書番号 | 担当 |
| 2 1 1 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| 題名 (原題/訳) | |
| <p>Alcohol consumption and the risk of self-reported perennial and seasonal allergic rhinitis in young adult women in a population-based cohort study.</p> <p>集団ベースのコホート研究での、若年成人女性における自己申告の持続的および季節性のアレルギー性鼻炎のリスクとアルコール消費量</p> | |
| 執筆者 | |
| Bendtsen P, Gronbaek M, Kjaer SK, Munk C, Linneberg A, Tolstrup JS. | |
| 掲載誌 (番号又は発行年月日) | |
| Clin Exp Allergy. 2008 Jul;38(7):1179-85 | |
| キーワード | |
| アルコール消費、アレルギー、疫学、前向きコホート研究 | |
| 要 旨 | |
| <p>背景： アルコール消費はアレルギー性鼻炎(AR)の発生に関連していると示唆されてきたが、この話題についてのデータは限られている。</p> <p>目的： 本研究の目的は、若年女性の間でアルコール消費量と AR 発生リスクとの間に関連があるかを検討することである。</p> <p>方法： 20-29 歳の季節性もしくは持続性の AR をベースライン時(1991-1993)にもたないデンマーク人女性 5,870 人が前向きコホート研究に参加した。アルコール消費量は食物頻度調査票で評価された。主要評価項目は 7.8 年の平均追跡期間における季節性もしくは持続性の AR の発生の自己申告の情報とした。</p> <p>結果： 追跡期間中 831 人の女性が季節性の AR を発生し(14%)、523 人の女性が持続性の AR を発生した(9%)。アルコール消費量は持続性の AR の発生と正の関連を示した。1 杯/週末未満飲酒する女性に対する 14 杯/週以上飲酒する女性の持続性 AR に対する調整オッズ比(OR)は 1.78(95%CI、1.13-2.80)であった。アルコール消費量と季節性 AR との関連はなかった。喘息である両親が 1 人か 2 人いる場合、調整オッズ比は、季節性 AR(OR2.01; 95%CI 1.65-2.45)、持続性 AR(OR:2.28; 95%CI 1.70-2.74)で有意であった。喫煙は AR 発生リスクの上昇とは関連がなかった。</p> <p>結論： 若年成人女性の集団において、アルコール消費量は持続性 AR の発生増加と関連していた。</p> | |